



# No Book No Life

No.1 / 2022年4月

**<本の貸し出し冊数と貸出期限についての連絡です。>**

**貸し出し期限は3週間(ただしコミックは3日)**

**貸し出し冊数の上限は10冊(ただしコミックは3冊)までです。**

少しずつコロナ以前の生活に戻ってきていますが、未だに自粛ムードが漂っています。そんな今だからこそ、たくさんの本を読み、教養を高めていきましょう。

**No Book No Life** です。読書量を増やし、人生を豊かにしていきましょう！！

## <返却の際の注意>

先日、図書館の返却ボックスに本校の本以外の本が返却されていました。本校の返却ボックスに公立図書館などの図書資料を返却しても、残念ながら公立図書館には返却されません。借りた本は責任を持って、返却してください。よろしくお願いします。

## ☆☆転任された先生のおススメ本紹介(第一弾)☆☆

### 地歴公民 池田 賢一先生

『司馬遼太郎全集 第29巻』より「京の剣客」 司馬遼太郎 文藝春秋(株)

車のラジオから声優による朗読番組が流れてきた。タイトルは司馬遼太郎短編傑作選、「京の剣客」。懐かしかった。高校2年の時に司馬遼太郎にはまり、全集35巻を読破したことを思い出した。この作品は20ページ余の小品だが、淡々と、しかし緊迫感のにじむ描写はさすがである。敵役の宮本武蔵の不気味さと周到さ、その底知れぬ恐ろしさを理解したうえで勝負を受ける主人公。司馬作品の入門として一読してみてもいいでしょう。

## 地理 廣井達人先生

『天河伝説殺人事件』 内田康夫 (角川文庫)

四年前に惜しまれて亡くなった内田康夫氏の初期に書かれた推理小説で、三十年程前に偶然本屋で手に取っただけであったが、その後長く内田康夫氏の愛読家となるきっかけとなった作品である。テレビでもおなじみの刑事局長を兄にもつるポライターの浅見光彦が人並みはずれた洞察力と推理力でいとも簡単に数々の難事件を解決するシリーズものだが、毎回舞台となる地方の伝統や文化、衣食住などの背景描写が実に絶妙なため、地理教員にとってはたいへん魅力的な作品シリーズである。

## 数学 小林 浄先生

『考えたら負け』 堀江貴文 (宝島社新書)

人生の成功と幸福は、考える力ではなく行動の「速さ」で決まる。「目指すべきは完璧じゃなく、完了」「今、ここ」に集中する」…。2015年以降、堀江貴文が各種メディアや自著に残してきた150の発言が収録されています。

彼の最近の「全思考」のエッセンスが、この一冊に凝縮されています。迷ったとき、心の折れそうなとき、ホリエモンの言葉があなたに「明日を生きる知恵と勇気」を授けてくれる一冊だと思います。

**今年度は転任した先生が多く、今回だけでは紹介しきれません。**

**次回からも紹介していくので楽しみにしてください！！**

雑誌や新刊等の情報を掲載します。ぜひ参加してください。

クラスルームのコードは **cfgbcm3** です。

(編集：3年図書委員)